



*General Commissioner's Office of Italy  
for Expo 2025 Osaka*

ローマ、  
2023年2月16日。

## イタリア 2025年大阪・関西万博

### イタリア館設計・建設の入札参加要綱に関するお知らせ

- 来る万国博覧会(万博)は2025年4月13日より大阪で開催されます。
- 2025年大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。
- イタリア館のコンセプトは「芸術はいのちを再生する」です。
- イタリア館には2025年大阪・関西万博敷地内のロットA9が割り当てられました。
- ロットA9は「いのちを救う」エリアに位置し、占有面積は3626平方メートル。そのうち建築可能面積は2538平方メートルで、高さ制限は建築面積の50%で17メートル、残りの50%で12メートルです。
- イタリア館の建設入札要綱は3月末頃に発表されます。入札様式は国際入札で、国際契約約款FIDICにのっとった設計建設請負契約（Plant and Design-Build Contract）となります。落札業者は発注者が設定したプロジェクトガイドラインにしたがってイタリア館の設計と建設を請け負います。具体的には、契約には、コンセプトのアイディエーション（構想）とデベロップメント（開発）、プレゼンテーション、ジェネラル・デザイン(初期設計)とファイナル・デザイン(最終設計)の作成、建設、定期・臨時メンテナンス、ならびに解体オプションが含まれます。
- 設計および建設の技術仕様については、主催者および博覧会国際事務局（B I E）よりガイドラインが示されます。また、開催国の法令・規制にしたがう必要があります。

● 建設業法にのっとり、資金事業者は日本の建設業許可を有していなければなりません(請負業者自身が有していなくても現地のパートナー企業が有している場合も可)。

● 資金事業者によって提出されるプロジェクトは、以下の法令をはじめとするすべての日本の建設関連法令を遵守しなければなりません。

1.日本の建築基準法ならびにその他の法令

2. 建築基準法および同法施行令

3. 建築士法および同法施行令

4. 都市計画法および同法施行令

5. 消防法および同法施行令

6. 大阪府建築基準法施行条例

7. 大阪市建築基準法施行条例および同法施行細則

8. 2025年日本国際博覧会協会ガイドライン GL4-7-1『建設解体ガイドライン(タイプA)』2022年6月改訂版

● 入札手続きはすべて専用の電子調達プラットフォームを通じて電子的におこなわれます。

● 入札手続きの公用語はイタリア語ですが、入札に関連する文書には英語版が用意されます。

● 資金事業者は単体でも団体でも応札することができます。資金事業者は応札に際して事業体のなかに以下の専門家を有することが求められ、またそれらの専門家の CV を提出しなければなりません。

1. プロジェクトの責任者となる日本の資格を有する建築士

2. 発注者のガイドラインにしたがい、建築、デザイン、内装においてコンセプトのアイディエーション（構想）から開発（開発）、インプリメンテーション（実現）までを責任をもって監督する芸術キュレーター

3. マルチメディア・テクノロジーの専門家

● 今回の入札では「最も低い提示価格(最も高いコストパフォーマンス)」の事業者が落札します。

● 審査終了時期は2023年6月末/7月初めを予定しています。

● 契約は総額制です。

- 予算は約 1,600 万ユーロで、最大 2,400 万ユーロまで増額される可能性があります。
- 竣工は 2025 年 2 月を予定しています。
- 入札主催者が提示するガイドラインはすべて [www.italyexpo2025osaka.it](http://www.italyexpo2025osaka.it) のサイト内、『ドキュメント』のページで見ることができます。
- 2025 年日本国際博覧会協会のウェブサイトは <https://www.expo2025.or.jp/en/> です。

Paolo Glisenti  
Commissioner General for Italy  
Expo 2025 Osaka

